第３号様式

（第１面）

事業活動地球温暖化対策結果報告書

（あて先）川崎市長

郵便番号　〒２１０－０８６７
住　　所　神奈川県川崎市川崎区扇町9番1号
氏　　名　三井埠頭株式会社
代表取締役社長　奥村　豊彦

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第１０条第１項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名又は名称	三井埠頭株式会社			
主たる事務所又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町9番1号			
該当する事業者の要件	☑ 規則第４条第１号該当事業者			
	☐ 規則第４条第２号該当事業者			
	☐ 規則第４条第３号該当事業者			
	☐ 規則第４条第４号該当事業者			
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）			
主たる事業の業種	大分類	H	運輸業，郵便業	
	中分類	48	運輸に附帯するサービス業	
主たる事業の内容	港湾運送業			
事業者の規模	☑ 原油換算エネルギー使用量		2,515	kｌ
	☐ 自動車の台数			台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量			t －CO_2

（第２面）

計画期間及び報告年度	平成 28年度　～　平成 30年度　　（報告年度　　平成30年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添　指針様式第２号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添　指針様式第２号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添　指針様式第２号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添　指針様式第２号のとおり
備　　考	

備考　1　欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
　　2　□のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
　　3　報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
　　4　※印の欄は記入しないでください。
　　5　氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

様式第２号　　（第１面）

事業活動地球温暖化対策結果報告

１　温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第１号、第２号、第４号該当者等）

（１）温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア　計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第１年度	第２年度	第３年度	目標排出量
排出量	(実) 5,752 (調) 5,715 t-CO_2	(実) 5,845 (調) 5,809 t-CO_2	(実) 6,117 (調) 6,083 t-CO_2	(実) 6,105 (調) 6,072 t-CO_2	(実) 5,580 t-CO_2
削減率		(実) −1.6 (調) −1.6 %	(実) −6.3 (調) −6.4 %	(実) −6.1 (調) −6.2 %	(実) 3.0 %

イ　計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	総取扱量		単位	t-CO2/千t	
	基準年度	第１年度	第２年度	第３年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	1.274	1.336	1.267	1.344	1.236
削減率		−4.9 %	0.5 %	−5.5 %	3.0 %

ウ　計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第１年度	総取扱量が約3%減少したのに対し、排出量は基準年度に比べて1.6%増加した。 また原単位に関しては4.8%の増加となった。 原因として、貨物の横持作業の増加により軽油の使用量が増加した為。
第２年度	基準年度に比べて総取扱量が約8%増加した為、排出量は6.3%増加した。 但し、原単位に関しては基準年度に対して0.5%の削減した。
第３年度	基準年度に対して総取扱量は同程度だが、重機車両の増加により軽油の使用量が増えた為、排出量は6.1%増加した。そのため、原単位については5.5%増加となり、目標を未達であった。

（２）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

様式第２号　　（第３面）

３　温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

（１）温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等（第１号、第２号、第４号該当者等）	計　画	1)温室効果ガス排出削減推進対策体制の整備 2)設備保全体制の整備 3)高効率機器への設備の更新の推進 4)使用重機のﾊｲﾌﾞﾘｯﾄ化推進 5)重機使用時のｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ徹底等省エネ運転の励行 6)倉庫運用方法の見直し(統廃合)
	第１年度	1)温室効果ガス排出削減推進対策体制の整備 平成29年度も継続実施 3)高効率機器への設備の更新の推進 一部ﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ機器への導入 6)倉庫運用方法の見直し(統廃合) 総合現場事務所の解体 平成29年度も継続実施
	第２年度	1)温室効果ガス排出削減推進対策体制の整備 平成30年度も継続実施 6)倉庫運用方法の見直し(統廃合) D-1,2倉庫の運用停止(次年度解体) 平成30年度も継続実施
	第３年度	1)温室効果ガス排出削減推進対策体制の整備(来年度に計画延伸) 2)設備保全体制の整備(来年度に計画延伸) 3)高効率機器への設備の更新の推進(一部機器を更新、継続実施) 4)使用重機のﾊｲﾌﾞﾘｯﾄ化推進(来年度に計画延伸) 5)重機使用時のｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ徹底等省エネ運転の励行(来年度に計画延伸) 6)倉庫運用方法の見直し(統廃合)（一部倉庫の解体及び新設、継続実施）
自動車等（第３号該当者等）	計　画	
	第１年度	
	第２年度	
	第３年度	

（２）再生可能エネルギー源等の利用実績

ア　再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

グリーン電力証書の購入検討を行う。

イ　計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要（規模、導入場所、性能等）	導入年度	備考

ウ　計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種　　類	概要（規模、場所等）	保有年度	備考

４　他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計　画	特になし
第１年度	特になし
第２年度	特になし
第３年度	特になし

５　その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計　画	1. グリーン購入の推進を行う。 2. 廃棄物の減量化、分別化の推進を図る。
第１年度	特になし
第２年度	特になし
第３年度	特になし

様式第２号　　（第６面）

６　前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

（１）事業者単位

ア　第１号、第２号、第４号該当者等

（実）	5,997	t-CO_2
（調）	5,950	

イ　第３号該当者等

（実）		t-CO_2
（調）		

（２）事業所等単位（第１号、第２号該当者等）

ア　年間の原油換算ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類細分類番号	事業所に係る事業の名称	温室効果ガスの排出の量
三井埠頭株式会社	川崎市川崎区扇町9番1号	4811	港湾運送業	5,997　t-CO_2
				t-CO_2
				t-CO_2
				t-CO_2

イ　年間の原油換算ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類細分類番号	事業所に係る事業の名称	温室効果ガスの排出の量
				t-CO_2
				t-CO_2
				t-CO_2
				t-CO_2

ウ　年間の原油換算ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

（３）事業所等単位（第４号該当者等）

ア　物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000ｔ以上（二酸化炭素の場合はｴﾈﾙｷﾞｰ使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類細分類番号	事業所に係る事業の名称	温室効果ガスの排出の量
				t-CO_2
				t-CO_2
				t-CO_2
				t-CO_2

イ　物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000ｔ未満（二酸化炭素の場合はｴﾈﾙｷﾞｰ使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	